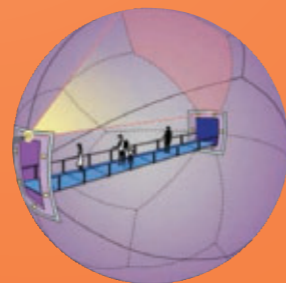




360°の音と映像に 包まれる、 おどろ 驚きの世界へ。

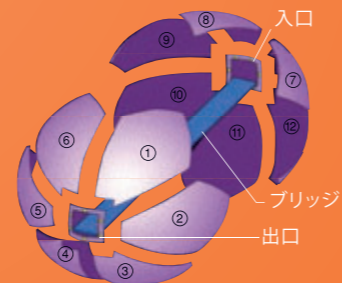
シアター THEATER 360とは?

2005年「愛・地球博」の長久手日本館で人気を博した「地球の部屋」が、国立科学博物館に移設され、「THEATER360 (シアター・サン・ロク・マル)」として生まれ変わりました。直径12.8m(実際の地球の約100万分の1の大きさ)のドームの内側すべてがスクリーンになっていて、その中のブリッジに立ち、映像をご覧いただけます。360°全方位に映像が映し出され、独特の浮遊感などが味わえる世界初のシアターです。



THEATER 360 イメージ図

12枚の五角形で全球に映像を投影しています。



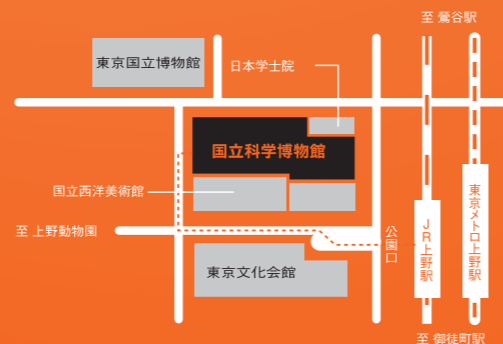
THEATER 360 の映像システム

シアター THEATER 360 をご鑑賞にあたっての注意事項

- おことわり: 映像の特質上浮遊感やスピード感があり、気分が悪くなるおそれがあります。特に、「小さいお子様」、「体調のすぐれない方」、「妊娠中の方」、「ご高齢の方」、「心臓疾患をお持ちの方」などは充分ご留意ください。また、「飲酒されている方」、「付き添い者のいない未就学児童」、「未就学児童の団体」のご入場はご遠慮願います。
- 禁止事項: シアター内での飲食、上映中の撮影、携帯電話の使用、火気の使用。その他は係員の指示にしたがってください。

国立科学博物館利用案内

- 【開館時間】 9:00-17:00(入館は16:00まで)
金曜・土曜 9:00-20:00(入館は19:30まで)
- 【常設展示入館料】 一般・大学生 620円(20名以上団体 310円)、高校生以下 無料
- 【閉館日】 毎週月曜日(日・月曜日が祝日の場合は火曜日)
年末年始(12月28日~1月1日)
※特別展等により変更することがあります。
- 【アクセス】 JR「上野駅」公園口から徒歩5分。
東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分。
京成電鉄「京成上野駅」から徒歩10分。※駐車場はありません。




人類の旅ホモ・サピエンス(精)の歩み

人類の旅

—ホモ・サピエンス(新人)の拡散と創造の歩み—


人類はアフリカで誕生し、猿人、原人、旧人、そして新人(ホモ・サピエンス)へと進化してきました。ここでは、化石やDNAなどの研究から、近年急激に解明が進んできた人類進化の道筋をたどります。そのクライマックスを飾るのは次々と新しい文化や技術を生み出すことによって可能となった、わたしたちホモ・サピエンスの世界中への大拡散です。

SCENE 1 早朝のアフリカの大地



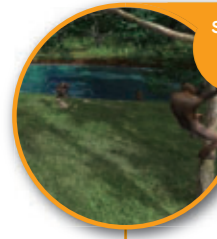
わたしたち人類はこの地球上にいつ頃誕生したのでしょうか? 最も古い人類の化石は、700から400万年前のアフリカの地層で見つかっています。では、わたしたちの祖先の様子をのぞいてみましょう!

SCENE 2 木々の中にラミダス猿人の群れ




ここは440万年前のアフリカの森です。木の上にいるのは、「ラミダス猿人」です。

SCENE 3 地上に降りてくるラミダス猿人




何か食べているものもいます。果物やキノコなどを食べているようです。足で器用に木の幹をつかむようにして降りてきました。そして、立ち上がりました。

SCENE 4 ラミダス猿人の二足歩行




二本足で歩いています。彼らは、直立二足歩行というヒトの特徴をすでに持っていました。身長120センチぐらい、体重は40から50キロほどです。アフリカで誕生した、わたしたち人類の祖先は、このように森やその周辺で暮らしていたと考えられています。

SCENE 5 猿人の分布地図




「猿人」が生きていた地域を見てみましょう。地図上のオレンジ色の部分です。彼らは数百万年の間、アフリカ大陸のただけで暮らしていました。

SCENE 6 原人の分布地図



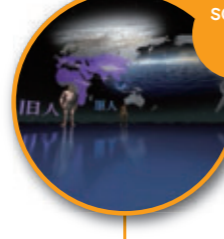
はじめてアフリカの外へ進出したのは、猿人から進化した「原人」です。彼らは180万年前頃アフリカを出て、ユーラシア大陸へと広がっていききました。彼らには「足が長い」という特徴がありました。

SCENE 7 旧人とフローレス原人の分布地図




50万年前以降になると、各地で、さらに進化したネアンデルタールなどの「旧人」や「フローレス原人」が現れます。

SCENE 8 人類が多様化した時代




人類が多様化した時代です。しかし、彼らには「大きな海を渡る」ことや、「凍えるような寒さの地域に進出する」ことはできませんでした。

SCENE 9 新人の登場




そして、およそ20万年前、アフリカで旧人から進化した新しい人類が登場します。それが、今のわたしたち、「新人」ホモ・サピエンスです!

SCENE 10 サバンナを歩くホモ・サピエンス




およそ10万から5万年前、いくつかのホモ・サピエンスの集団がアフリカの外へと移動を始めます。世界中へ広がる壮大な旅のはじまりでした!

SCENE 11 世界各地へ




わたしたちは、それまでの人類にはない「新しい能力」を持っていました。世界各地にその痕跡が残っています。

SCENE 12 ラスコの壁画と壁画を描くクロマニヨン人




ヨーロッパでは、牛や馬などの姿をダイナミックに描いた壁画が多数みつかっています。今の芸術につながるような、創造的な活動が行われていました。

SCENE 13 星空下の岩陰




また、音楽も奏でていました。トリの骨で作った縦笛が見つかっています。音や絵を使いこなしていたことなどから、言葉が存在し複雑な情報を伝えあっていたと考えられます。

SCENE 14 最終氷期の雪原




これまで人類の進出を拒んできた過酷な環境にも、わたしたちは知恵と工夫で挑んでいきました。冬になればマイナス30度以下になる北の大地の厳しい寒さ。こうした、凍えるような寒さの中でも「暖かく、動きやすい」防寒服を身につけていました。

SCENE 15 マンモスの骨で作った住居



さらに、マンモスの骨などを組み合わせた住居を作り上げます。強い風にも耐える構造で、中は暖かく機能的なものでした。


SCENE 16 朝焼けの海を進む船



一方、大きな海を渡るという人類の挑戦は、5万年前からはじまっていました。オーストラリア大陸に初めて人類が現れたことが、それを示しています。


やがて、帆の付いた大型の船をつくり、水平線を越えて、遠い太平洋上の島々にも進出していきました。こうした「世界中へ広がる人類の旅」の中で、わたしたちの祖先は、日本列島に4万年前頃やって来たと考えられています。

SCENE 17 世界地図と世界の人々



わたしたち「ホモ・サピエンス」は、「新しい技術」や「文化」を創り出しながら、地球上のあらゆる場所に拡散していったのです。

SCENE 18 地球の夜景



アフリカから始まった、わたしたちの旅と、文化を創造する歩みは、長い年月を経た今も続いているのです。